

仙台市×東北大学 スーパーシティ構想

リードアーキテクト
東北大学 理事・副学長
青木 孝文



災害から復興の10年で 地域社会と科学の交点が拡大

- ・ 防災（BOSAI）と国際災害科学研究
- ・ 地域医療と東北メディカルメガバンク
- ・ 産官学連携と次世代放射光計画

➡ 仙台市×東北大学の可能性が増大



未来都市づくりの 起点となる東北大学

①若い世代のダイナミズム

アイデアを次々と生み出す力

②ダイバーシティ

留学生など多様性あふれる人材

③夢をかなえる研究力

未来をつくる総合知の源泉



オープンネスの重視

- ・ 社会と科学がつながる
- ・ 市民と大学がつながる
- ・ 産業界と大学がつながる
- ・ 都市と世界がつながる
- ・ 過去と未来がつながる

社会イノベーターとともに
大きなトランスフォームを
スーパーシティ構想で推進



次の10年へ そして未来へ

東北大学がショーケースとなって
仙台/青葉山から未来都市が萌芽・開花し
50年先に向けて活動が持続する

